

## 物品購入仕様書

### 1 適用

本仕様書は、「X線骨密度測定装置 購入」に適用する。

### 2 目的

この契約は、発注者（以下「甲」という。）が、X線骨密度測定装置を受注者（以下「乙」という。）から購入することを目的とする。

### 3 購入物品仕様

別紙のとおり

### 4 履行場所

東京都町田市旭町二丁目15番41号 町田市民病院

### 5 履行期限

2021年 3月 31日

### 6 納品方法

- (1) 納品日時は、甲・乙協議して決めるものとする。
- (2) 納品時間は、8時30分から17時までとする。
- (3) 納品は、履行場所に搬入するものとする。
- (4) 納入品は通常使用ができるよう設置すること。

### 7 設置場所

担当職員の指定した場所

### 8 契約代金の支払い

甲は、納入品をもって検査を行いその結果合格と認めたあと、乙の請求に基づき代金を支払うものとする。

### 9 安全対策等

乙は、本契約を履行するにあたり関係法令を遵守し、甲及び第三者に損害を及ぼさないよう安全性の確保に十分留意し、損害を及ぼした場合の一切の費用は乙の責任において速やかに対処すること。

### 10 作業全般

- (1) 実施方法については、作業手順書を事前に提出し、担当職員と十分協議の上実施すること。

- (2) 受注者は、作業するにあたり、病院施設等での作業環境を十分理解し、患者等に迷惑をかけないように努め、担当職員と協議すること。
- (3) 仕様書によるほか、その他関係法規に基づき実施すること。

#### 1.1 定めのない事項

本仕様書に明記されていない事項であっても、その性質上当然に必要なものは全て乙の負担で実施すること。

その他、本仕様書に定めのない事項については、必要に応じて甲・乙が協議して定めるものとする。

### 3 購入物品仕様

#### 1. 調達物品の特質等

以下と同等なもの

X線骨密度測定装置 Horizon W型  
製造メーカー 米国・ホロジック社

機器構成内訳は別紙2の通りであり、別紙3詳細仕様を満たすものであること。

#### 2. 調達する数量 一式

(別紙1)

物品名及び構成内訳

1. 調達物品名 : X線骨密度測定装置
2. 数量 : 一式
3. 構成内訳

- (1) X線Cアーム
- (2) X線検出器
- (3) 電動式患者テーブル
- (4) 画像処理装置
- (5) 測定・分析用ソフト
- (6) モニター
- (7) プリンター
- (8) その他

詳細仕様 (性能・機能に関する要件)

1. X線Cアーム

- 1-1 X線発生方法は、二重X線発生方式のスイッチングパルス方式であること
- 1-2 使用管電圧は100 kV p 及び140 kV p の2種類であること。
- 1-3 測定方式は、DXA 法であること。
- 1-4 ビーム方式は扇状ファンビーム方式であること。
- 1-5 部位は、AP 腰椎、大腿骨、全身、前腕骨がスキャンできること。
- 1-6 AP 腰椎 (L2~L4) のスキャン速度は10 秒以内の機能を有すること。
- 1-7 大腿骨のスキャン速度は10 秒以内の機能を有すること。
- 1-8 前腕骨のスキャン速度は30 秒以内の機能を有すること。
- 1-9 全身のスキャン速度は430 秒以内の機能を有すること。
- 1-10 スキャンの範囲は、1970mm×650mm であること。
- 1-11 測定開始毎のキャリブレーションの必要がなく、自動内部キャリブレーションシステムを実装していること。

2. 検出器

- 2-1 検出器方式はマルチディテクター方式であること。
- 2-2 検出器数はGOS シンチレータ+シリコンダイオード検出器128 個で、その全てが、High/140kVp と100kVp を検出できる機能を有すること。

3. 電動式患者テーブル

- 3-1 患者の体位及び撮影部位に合わせ、テーブルが前後方向に稼働すること。
- 3-2 患者の側でテーブル及び1. X線Cアームを制御できるように、コントロールパネルを有すること。
- 3-3 患者用固定として、腰椎測定用足乗せ台及び大腿骨測定用固定具を有すること
- 3-4 患者の位置決めの為、クロスレーザーポインターを実装していること。また、クロスレーザーポインターの長さは縦横30 cm以上であること。
- 3-5 患者テーブルと検出器部のクリアランスは59 cm以上であること。
- 3-6 全身測定の際はテーブルが左右に50 cm以上可動すること。

4. 画像処理装置

- 4-1 CPU の演算機能は、3.0GHz と同等以上であること。
- 4-2 ハードディスク装置は物理的記憶容量が500GB 以上のものを実装していること
- 4-3 測定結果保存のため、DVD/CD ドライブ装置を実装していること。

## 5. 測定・分析用ソフト

- 5-1 以下の測定・分析用のソフトウェアを有すること。  
腰椎正面側面/側弯症測定、大腿骨測定、全身測定（全身体組成含む）、前腕骨測定、比較解析、7 関心領域設定、金属除去、小児解析、IVA (Instant Vertebral assessment)、脊椎骨折分析
- 5-2 以下の管理データソフトウェアを有すること。  
ノーマルデータ表示（T-スコア、Z-スコア、変化率表示）  
QC ソフトウェア
- 5-3 データを記録しており、再解析が可能であること。
- 5-4 解析時にヒストグラム機能を有すること。

## 6. モニター

- 6-1 21.5 インチワイドの同時表示数 1677 万色カラー液晶モニターであること。
- 6-2 解像度は 1920×1080 ドット以上であること。

## 7. プリンター

- 7-1 印刷方式はインクジェットであること。
- 7-2 印刷用紙サイズは A4 サイズであること。

## 8. その他

- 8-1 精度チェック用として、人工腰椎ファントムを備えていること。
- 8-2 DICOM 規格及び MWM に対応していること。
- 8-3 既存機器のデータを新しい装置に移行できること。（画像を含む）
- 8-4 既存機器とデータの互換があること。
- 8-5 DICOM 関連の接続費用並びにその他のネットワーク通信接続費用については、本導入費用に含むものとする。
- 8-6 ネットワーク接続ケーブルは白色を使用すること。なお、ケーブルの規格は、カテゴリ 6.0 を使用し、原則ハブの使用は不可とする。
- 8-7 IP アドレス等の指定は当院規定に基づき設定すること。また、設定後は使用した IP アドレス等の情報を当院 PACS 担当者へ報告すること。
- 8-8 機器の搬入、据付、配線、配管調整については、当院の診療業務に極力支障をきたさないように当院の職員と協議の上、落札者において施行すること。
- 8-9 装置には、コンピュータウィルス対策ソフトを搭載すること。また、ウィルス定義ファイルは、自動的に更新すること。
- 8-10 DICOM のモダリティーコードは、当院が指定できること。
- 8-11 2021 年度に予定されている放射線情報管理システムの更新の際、装置間の情報連携が取れること。（モダリティーコードの変更を必要性がある場合には対応すること。）なお、費用は無償にて行うこと。
- 8-12 時刻設定の際には当院タイムサーバと時刻同期をとること。

- 8-13 本装置導入に際し、システム関連等に関しては当院 PACS 担当者と協議し、その指示に従うものとする。
- 8-14 既存装置の撤去及び搬出を行うこと。また、撤去費用についても落札者が負担すること。
- 8-15 装置の搬出・搬入のためのルート確保、養生などは納入業者が実施すること。
- 8-16 本仕様に関する全ての機器に関する無償保証期間は、装置引き渡し後、2022 年 3 月 31 日までとすること。
- 8-17 本システム検収後、2022 年 3 月 31 日までは、オンコールにおける作業費は全て無償であること。
- 8-18 装置備品や必要な消耗品は安定供給が確保され、故障時等の対応について責任を持つこと。
- 8-19 取扱い説明に関する導入時の教育訓練を当院担当職員に十分に行うこと。